



富山銀行



北陸電力



2026年2月10日

高岡市

株式会社富山銀行

北陸電力株式会社

北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社

## 脱炭素推進連携に関する協定の締結

～中心市街地の脱炭素×資源循環を実現する

リユースパネル活用型太陽光オフサイト PPA の導入～

高岡市、株式会社富山銀行（以下、富山銀行）および北陸電力株式会社（以下、北陸電力）は、本日、高岡市脱炭素先行地域に関する連携協定を締結し、脱炭素化の取組みを更に推進していくこととしました。

高岡市は、環境省が地域脱炭素ロードマップに基づき選定する「脱炭素先行地域」に選定されているほか、富山銀行と北陸電力は、高岡市の脱炭素先行地域事業を官民連携により展開する高岡市カーボンニュートラル推進協議会に参画し、脱炭素に関する様々な取組みを推進しているところです。

今回、「脱炭素先行地域」の取組みの一環として、北陸電力ビズ・エナジーソリューション（以下、北電 BEST）が太陽光発電所を新たに設置・保有し、発電した再生可能エネルギー由来電力（以下、再エネ電力）を北陸電力が富山銀行本店へ供給するオフサイト PPA の開始を今夏に予定しております。

本発電所は高岡市内に設置し、脱炭素先行地域のエリア内に位置する富山銀行本店へ供給する地産地消モデルであることに加え、資源循環に繋がるリユースパネルを活用する太陽光発電の導入は北陸電力グループにおいて初の取組みとなります。

富山銀行においては、今夏予定しているリユースパネルを活用する太陽光発電由来の電力供給により、富山銀行本店の約 11%相当が再エネ電力に置き換えられ、CO2 削減量は約 40t/年となる見込みです。また、さらなる脱炭素化の観点から、来年を目途に地産地消による再エネ電力のオフサイト PPA の開始を計画しており、合計で約 22%相当が再エネに置き換えられ、CO2 削減量は約 80t/年となる見込みです。

今後も、今回の連携協定の締結に基づき、高岡市・富山銀行・北陸電力グループは、高岡市の「脱炭素先行地域」の取組みをはじめとする脱炭素化の取組みを推進して参ります。

※PPA とは「Power Purchase Agreement（電力購入契約）」の略で、オフサイト PPA とは敷地外に設置した発電設備から電力を購入すること。

## ■高岡市「脱炭素先行地域」の概要

<環境省提案時のタイトル>

- ・ 中心市街地の脱炭素×資源循環で実現する環境と経済の両立  
「脱炭素未来都市高岡の挑戦」

<共同提案者>

- ・ 高岡市および高岡市カーボンニュートラル推進協議会（市内事業者等 22 団体）

<取組みの全体像>

- ・ 高岡市の基幹事業であるアルミ産業の企業を巻き込み資源循環の強化および脱炭素化を目指しており、中心市街地に太陽光発電設備の導入を進めるとともに、富山大学による不純物を含む廃アルミから再生地金の利用を可能にする技術の研究開発と連携して先行地域内外で発生する使用済太陽光パネルを再生アルミ資材にマテリアルリサイクルを図り、資源循環等を進め地域経済循環を確立しサーキュラーエコノミーモデルを構築します。
- ・ 中心市街地活性化基本計画の取組みと「地方創生推進交付金」（内閣府）を活用することで、商業施設等を中心に市街地の求心力を更に高め、交流人口を拡大し脱炭素との相乗効果を生み出し、にぎわい創出を目指します。

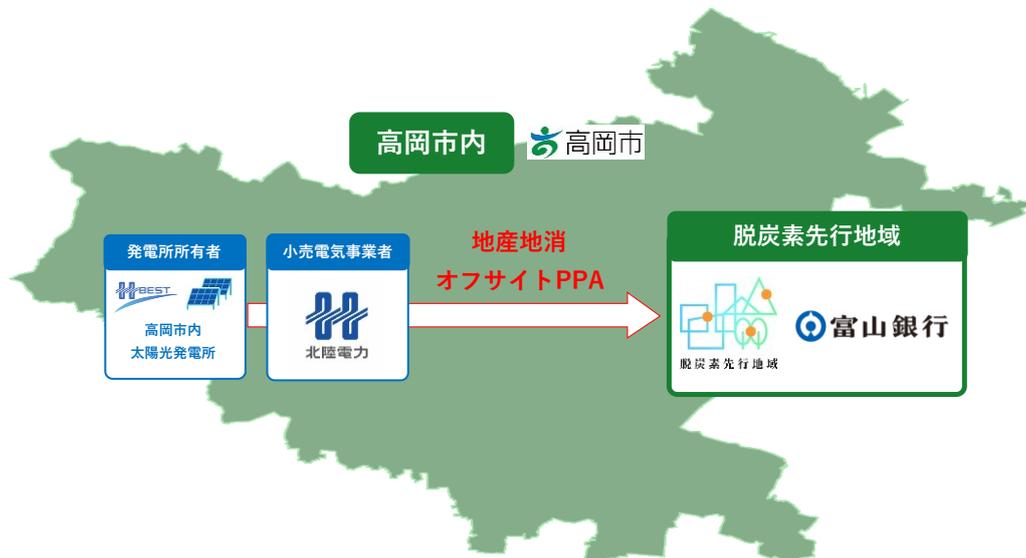
## ■連携協定事項

- ・ 高岡市脱炭素先行地域における脱炭素化の取組み推進
  - －再エネ電力導入を含む脱炭素化の推進
  - －省エネルギーの推進
  - －その他脱炭素化に寄与する取組みの推進

## ■富山銀行に供給する太陽光発電所の概要

	リユースパネル（今回）	通常パネル
運転開始時期	2026年9月頃	2027年予定
電源所在地	富山県高岡市内	同左
パネル容量	約 80kW	同左
年間発電量	約 78,000kWh	約 76,000kWh

## ■スキームイメージ



以上